



## 成田栄治選手が昨秋の世界大会「クエスト」に続き世界4位 大田浩司選手もファイナル進出

バーテンダー(フレア・バーテンディング)世界大会「Legends of Bartending 9」

米国・ラスベガスのリオ・オールスイートホテル&カジノで開催されたフレア・バーテンディング(以下、フレア)世界大会「Legends of Bartending 9」(Legends 9)は、現地時間3月6日夜にファイナル(公開決勝)が行なわれ、日本から出場した成田栄治(なりた・えいじ)選手と大田浩司(おおた・こうじ)選手がファイナルに進出。成田選手は4位に入賞し、日本人選手としてポアオフ・チャンピオンとファイネストコール・ストール・チャンピオンを受賞したほか、大田選手は11位に入賞しました。同大会における日本人選手の入賞は3年連続でした。優勝はアルゼンチンのロドリゴ・デルペッシュ選手で、2005年からの大会3連覇を果たしました。

### 日本の選手層の厚さを見せた大会に

Legends 9には世界各国から推薦された59選手がエントリーし、ファイナル進出の11選手を選抜する予選を実施。カクテル制作を想定して注ぐ液体の分量の正確さを競う「ポアテスト・ラウンド」、カクテル制作の速さと正確さを競う「スピード・ラウンド」、カクテル制作とフレア技術競う「エキシビジョン・フレア・ラウンド」の3ラウンドが行なわれました。

日本人選手は、昨年決勝進出の4名が今大会を欠場という中で、成田栄治選手が7位、大田浩司選手が9位でファイナルに進出。また、ポアテストでは上位5人中日本人選手が3人を占めたほか、全7名の日本選手が健闘し、世界のフレアシーンに日本ありという印象付けができました。

### 準優勝として表彰台に上がるも集計ミスが発覚。翌日の再発表で4位に

6日のファイナルでは予選結果がリセットされ、「ポアテスト」、「スピード・ラウンド」に加えて、通常のバーテンダー業務を想定して正確なフレア技術を競う「ワーキング・フレア・ラウンド」を日中に実施。技術のダイナミックさなどショー的要素を含む「エキシビジョン・フレア・ラウンド」は公開決勝として開催されました。当初の表彰式では成田選手が2位として表彰され、世界大会における日本人選手最高位を更新した喜びにわきましたが、集計ミスが発覚し再集計が行なわれ、翌日に4位として再発表されるという不運に見舞われました。しかし、成田選手は4位入賞のほか、注ぐ液体の分量の正確さを競うポアオフ・チャンピオンと、サワーミックスなど副材料メーカーであるファイネストコール社製品のアピール度が評価されるファイネストコール・ストール・チャンピオンを受賞しました。また、今大会ファイナル進出を目標に臨んだ大田選手も健闘し、11位入賞となりました。

日本人のファイナル進出は3年連続。優勝は、3年連続でアルゼンチンのロドリゴ・デルペッシュ(Rodorigo Delpech)選手で、2001年から4連覇した同氏の兄、クリスチャン・デルペッシュ(Christian Delpech)選手とともに、兄弟で7年間にわたり王座に君臨しています。

### フレア世界大会「Legends of Bartending」について

米国 Flair Bartenders Assosiation(FBA)と High Spirits 社が主催する「Legends」は、過去の実績や前年成績により選抜された選手のみが出場できる、ゴルフの「マスターズ」のフレア・バーテンダー版といえます。この大会は毎年春に開催され、世界一のフレア・バーテンダーを決める大会として認識されており、今大会で9回目を数えました。

FBAでは、2005年から「FBA PRP TOUR」と称して、大会規模によってレベルを1から6まで分類しており、同大会は唯一最高位のレベル6に位置づけられております。

日本人選手は2002年に、日本におけるフレアの先駆者であり日本フレア・バーテンダーズ協会(FBA JAPAN)現会長の北條智之と米国でフレアを学んだ岩本博義が初出場し、翌2003年の岩本選手、2006年の前田知憲選手の総合3位が過去最高位。

本リリースに関するお問い合わせは、FBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)広報本部長 長嶋宏明まで  
広報本部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST2F THE PLACE 内  
TEL:03-5447-5505(不在時は070-5568-2719) E-Mail = PR@fba.jp URL = http://www.fba.jp  
事務局 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル1F カクテルパー・マルソウ内 TEL&FAX:045-442-0446



## 日本フレア・バーテンダーズ協会 (FBA JAPAN) について

### ■「正しいフレア文化を目指した組織」を目指して

FBA JAPAN は、2000年8月1日に現在の前身となる日本フレア・バーテンダーズ・ネットワーク(FBN)として発足しました。

米国・ニューヨークを本部とする「フレア・バーテンダーズ・アソシエーション(FBA)」の会員登録日本人第1号である北條智之(現FBA JAPAN会長、「カクテルバー・マルソウ(横浜)」ヘッド・バーマン)、韓国スタイルのフレアを習得し、関西でそれを広めた石川廣幸(現FBA JAPAN相談役、TOPLEO Extreme Flair プロデューサー)、日本のT.G.I.フライデーズにフレアを伝えた久保田琢磨(現FBA JAPAN相談役、T.G.I.フライデーズ ゼネラル・マネージャー)の3人により「日本における正しいフレア文化の発展」という目的で発足したものです。

当時のFBNは、全国各地でテクニック講習会、アトラクション等でフレアを広める活動を開始。また、競技会開催に向けて、世界最大規模のフレア国際大会「2000 Quest for the Best Bartender in the World」に北條と石川が出演。久保田はT.G.I.フライデーズのフレア国際大会に出場しました。3人の海外経験をもとにスタートした「FBN 全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ」は、現在のFBA JAPAN チャンピオンシップに名を変え、今年で第6回を迎えます。

### ■世界の一角となった日本のフレア

2002年10月頃には、FBNの活動と実績がFBAに認められ、石川(西日本代表)、北條(東日本代表)の2名がFBA日本代表者に決まりました。2003年3月、世界におけるフレアでの貢献を評価された石川、北條はFBAアワードの「FBA グロース部門」で表彰され、また、岩本博義が2003年に世界大会「Legends 5」(レジェンド)で世界3位に入賞し、日本のフレア躍進を世界に印象付けました。

### ■FBAの日本支部として「FBA JAPAN」に改称、そして日本のフレアは世界のトップレベルに

2004年7月、FBNによるフレア文化の浸透と発展を目指した活動が評価され、FBNは正式に、FBAの日本支部としての活動を開始しました。同時に名称はFBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)となり、現在も世界レベルのフレア・バーテンディングとその普及を目指した活動を展開しています。

2006年3月に開催されたフレア世界最高峰の大会「Legends 8」では、前田知憲の日本人では2度目の3位に入賞したほか、4人の日本人がトップ10位に入り、過去最高の成績となりました。

FBA JAPAN 公式ウェブサイト=<http://www.fba.jp>

## Flair Bartender's Association (FBA) について

FBAは、アメリカ人のバーテンダー、アラン・メイズ氏とトビー・エリス氏によって1997年に発足し、同年後半にはアメリカのケン・ホール氏、ジム・アリソン氏、イギリスのステファン・ノートブーン氏、オランダのフィリップ・ダフ氏、カナダのディーン・サニール氏、イタリアのファビオ・ミラニ氏などフレア・バーテンダー30人が集まり、世界的なネットワークが形成されました。翌1998年には、FBAには24ヶ国250名が集まり、2007年3月8日現在では143ヶ国10,819名のバーテンダーが会員となっています。

FBA 公式ウェブサイト=<http://www.barflair.org>

本リリースに関するお問い合わせは、FBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)広報本部長 長嶋宏明まで  
広報本部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST2F THE PLACE 内  
TEL:03-5447-5505(不在時は070-5568-2719) E-Mail = [PR@fba.jp](mailto:PR@fba.jp) URL = <http://www.fba.jp>  
事務局 〒220-0011 神奈川県横浜西区高島2-19-12 横浜スカイビル1F カクテルバー・マルソウ内 TEL&FAX:045-442-0446



## What is the Flair? フレア・バーテンディングとは “自己表現”を意味する Flair Bartending

### ●最古のフレアは 1849 年

フレア最古の記録は、1849年アメリカ・サンフランシスコはエルドラド・サロンのバーテンダー、ジェリー・トーマス氏が開発したカクテル「ブルー・ブレイザー」が始まりとされています。

19 世紀後半にアメリカで活躍した伝説的なバーテンダーは、親しみを込めて“プロフェッサー”と呼ばれていました。カクテル「トム・アンド・ジェリー」や「マティーニ」の考案者としても噂される人物です。「ブルー・ブレイザー」とは、大ぶりの銅製マグを2個用意し、その一つにワイングラス1杯分のお湯と、もう一つの温めたスコッチに火をつけ、燃えさせたまま、お湯の入ったマグに注ぎ込み、またもとに戻す。これを4～5回、青い炎が流れるのを繰り返すというものです。

これが、フレア・バーテンディングらしき事をやっていたという最古の記録であるとされています。

### ●現代のフレア

現代の、グラスやボトル、ティンなどをスピンさせたりフリップさせたりするフレア・バーテンディングのスタイルと名称は、アメリカのバーテンダー、マイク・ワーナー氏により使われ始めたといわれています。

FLAIR“フレア”とは“アピール”や“自己表現”といった意味があり、バーテンダーがカクテルなどお酒をサービスする過程でお客様を楽しませる事を“フレア・バーテンディング”と呼んでいました。

マイク・ワーナー氏は、初めてゴリラの衣装を着てバーのカウンターに現れ、お客様の前でボトルやバーツールを回転させたりし、それらを巧みに扱い、火喰いショーまでやってみせて以来、フレア・バーテンディングの人気はうなぎ上りに高まったといわれています。

フレア・バーテンディングはその後、1988 年にトム・クルーズ主演の映画『カクテル』によって世界の人たちの目に触れ、一躍知られるようになりました。この映画の舞台になったバーはニューヨークのT.G.I.フライデーズで、トム・クルーズにフレア・バーテンディングを指導したのはサンフランシスコのT.G.I.フライデーズのフレア・バーテンダー、ジョン・バーンディー氏です。

T.G.I.フライデーズは1965年に、1号店をニューヨークの63番通りファースト・アベニューにオープンして以来、現在650店舗以上のチェーン店として世界に拡大しています。

### ●日本でのフレア・バーテンディングの始まり

わが国でも映画『カクテル』の影響で、見よう見まねのフレア・バーが現れました。しかし、当時は一過性のブームとして消えてしまいます。正しいフレアが伝わらず、指導できるバーテンダーもいなかったためです。1990年代前半にも外国人たちが集まる酒場でグラスやボトルを回すバーテンダーが現れましたが、まだフレアというものを知る人はいませんでした。

1990年代後半、フレアが盛んな韓国やシンガポールなどでフレアを学んだバーテンダーや、ジャグリングなどを学びバーに立つ者が確認され、日本にもフレア・バーの足音が聞こえ始めました。

1997年5月、東京の芝浦に日本初と言われるフレア・バー、「ソウル・トレイン・カフェ」(1年後にソウル・スター・カフェに改称)が開店。1999年8月、フレア・バーの老舗で知られるT.G.I.フライデーズ・ジャパンの1号店が東京・渋谷にオープンしました。

現在の日本におけるフレア文化の礎となったFBN(FBA JAPANの前身)が発足したのは、その後2000年のことです。



## 日本人選手のフレア・コンペティション国際大会結果

開催年	大会名(開催地)	結果	出場者
2000	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	アジア大会初出場	久保田 琢磨
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	世界大会初出場	石川 廣幸 北條 智之
2001	ショーテンダー・インターナショナル・ バーテンディング・コンペティション(アメリカ・デンバー)	スピード部門優勝 フレア部門準優勝	岩本 博義
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	ルーキー部門 7 位	岩本 博義
	バトル・オブ・バースターズ・ワールド・コンペティション (オランダ・クロスビーク)	総合6位	石川 廣幸
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	ポアテストラウンド 1 位	逆瀬川 豊
2002	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ(アメリカ・ラスベガス)	FBA JAPAN 初出場	北條 智之 岩本 博義
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合準優勝	吉原 晋一
2003	第 9 回 金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	6位	北條 智之
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	金城 光浩
		総合3位	滝藤 育伸
		ポアテストラウンド1位	江田 毅寿
	サザンコンフォート・パー・ショー・アワード(オーストリア)	5位	宇敷 勝己
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・ミドリ・カップ	総合8位	長岐 崇
	<b>レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)</b>	<b>世界総合3位</b>	<b>岩本 博義</b>
FBA トリプルチャレンジ・オブ・バーテンディング (アメリカ・パナマシティ)	タンデム部門5位	石川 廣幸 北條 智之	
2004	ビッグ・アップル・ショー・ダウン (アメリカ・ニューヨーク)	総合8位	宇敷 勝己
	第 10 回金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	3位	金城 光浩
	アジア・パシフィック・バーテンダー・オブ・ザ・イヤー フレア部門(グアム)	3位	金城 光浩
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	矢吹 昌也
	<b>TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ</b>	<b>ワールドチャンピオン</b>	<b>金城 光浩</b>
	インターナショナル・ミドリ・カップ (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	シャルトリュース・ミックスアビリティ&フレア・コンペティション (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・マリブ・カップ(グアム)	準優勝	相場 雄希
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ(グアム)	総合優勝	相場 雄希
	FBA ハイスピリッツ・クエスト (アメリカ・オランダ)	プロ部門総合 6 位	金城 光浩
アドバンスド部門総合 7 位		市川 寛	

本リリースに関するお問い合わせは、FBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)広報本部長 長嶋宏明まで  
 広報本部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST2F THE PLACE 内  
 TEL:03-5447-5505(不在時は070-5568-2719) E-Mail = PR@fba.jp URL = http://www.fba.jp  
 事務局 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル1F カクテルバー・マルソウ内 TEL&FAX:045-442-0446



2005	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界 10 位	茂呂 俊文
	TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ	ワールドチャンピオン	相場 雄希
	ボルス・フレアテンディング・コンペティション 2005(香港)	8位	池田 知明
	パリ・フレア・オープン 2005(パリ)	6位	金城 光浩
		8位	市川 寛
	ビッグアップル・ショーダウン 2005(ニューヨーク)	9位	前田 慶裕
	金樽杯国際アワード・コンペティション フレア部門(台北)	アジアチャンピオン	中山 信祐
	クエスト 2005(アメリカ・オーランド)	4位	前田 知憲
		8位	茂呂 俊文
The FBA Blue Blazer(ラスベガス)	9位	岡沼 弘泰	
2006	レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界総合3位 (予選 2 位)	前田 知憲
		6 位	前田 武頼
		8 位	金城 光浩
		9 位	茂呂 俊文
	第 12 回金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	4 位	小林 直樹
	キング・オブ・リング(アメリカ・ラスベガス)	タンデム部門 3 位	矢吹 昌也 羽田 善行
	ゴールド・シェイク・カップ(韓国)	タンデム部門優勝	矢吹 昌也 羽田 善行
	クエスト 2006(アメリカ・オーランド)	世界総合3位	前田 知憲
		4 位	成田 栄治
		9 位	前田 武頼
	ゴールデンカップ アワード フレア部門(台湾)	優勝	前田 知憲
		4 位	工藤 耕希
	ロードハウス ワールドファイナル	7 位	茂呂 俊文
		11 位	金城 光浩
	フレア・バーテンダーズ・コンペティション フレア・ショーダウン2(韓国)	優勝	金城 光浩
		2 位	成田 栄治
10 位		中山 信佑	
2007	レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界総合4位	成田 栄治
		11 位	大田 浩司

本リリースに関するお問い合わせは、FBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)広報本部長 長嶋宏明まで  
 広報本部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST2F THE PLACE 内  
 TEL:03-5447-5505(不在時は070-5568-2719) E-Mail = PR@fba.jp URL = http://www.fba.jp  
 事務局 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル1F カクテルパー・マルソウ内 TEL&FAX:045-442-0446